

<単 報>

## 箱館戦争における援軍，ハーマン号の遭難と探索

いの うえ たか ひこ  
井上 隆彦

(筑波大学博士課程歴史人類学研究科研究生)

### はじめに

明治元年，明治新政府は王政復古を宣言した新政府が日本全国を支配する中央政府であることを各国に通告した。しかし，えぞ地（北海道）は旧幕府海軍副頭取であった榎本武揚率いる旧徳川勢力が全島を支配していた。明治2年新政府より命を受けた津軽藩は箱館五稜郭に拠る旧幕府軍と日夜激戦を交えたが苦戦であった。このため，津軽藩主津軽承昭の実兄である熊本藩主細川韶邦も事態を憂慮し，同年正月援軍を急拠箱館へ派遣することにした。熊本藩は横浜で米国の蒸気船を雇い藩士350人，米国人乗組員80人を乗せ横浜港を出帆したが出発直後の同年正月3日夜（新暦1869年2月13日），勝浦市川津沖で大風雨に遭い難破し，200数十名の犠牲者を出した。遭難した蒸気船の船名はハーマン（Hermann）号である。

勝浦津慶寺には受難者の過去帳が残っており，またハーマン号の艦装の一部と思われる巻揚機が保管され当時を偲ばせる。19世紀は船舶の発達史においても大変革の時代であったが蒸気外輪船の船体構造やその艦装など不明な部分が多く外洋船で発掘保存されている例は世界にない。また，海底にはまだ大量の遺品，遺物が残されているのではなかろうか。このため，当船の水中発掘の可能性につき事前調査をしており，その位置も大体特定できるところに来ている。近い将来水中の考古資料を通じ近代初頭の軍事・航海・造船技術の具体相を紹介できればと思う。



図2 ハーマン号の推定沈没位置略図

### 1 ハーマン号の遭難の状況

船長ニュエリの指揮下，正午に横浜港を出帆したハーマン号は浦賀水道にに向かって進んだ。前日よりの強風は南から北東に変わり，気圧計は天気回復の兆しを示していた。相模岬をかわすと南西からの大きなうねりがあった。房総沖を通過し，1時間に約7ノットの速力で東から北北東に向け進んだ船はやがて白波立つ暗礁地帯を通り過ぎようとした。

同船した日本人の水先案内人が勝浦付近には暗礁があると船長に告げた。その暗礁の存在は海図上に示されて無かった。その晩は極端にもやのかかった暗い海で視界も悪かった。船の進路は勝浦川津より約8マイル付近を航行すべくとられた措

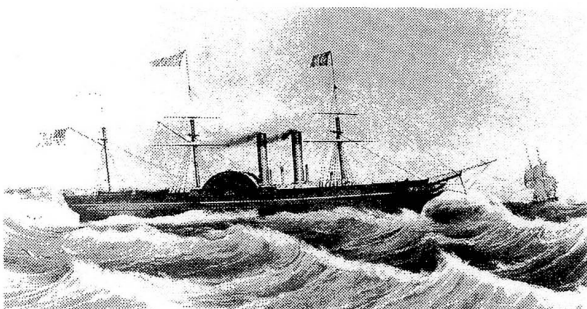


図1 沈没前のハーマン号 (Peabody Museum of Salem提供)

箱館戦争における援軍、ハーマン号の遭難と探索 (井上隆彦)

置で、船長はこの航路に全然不安を持たなかったが、念のため羅針盤で確認しようと船尾に行った。この時、船首前方および左舷付近にだけ波を發見した船長は“とり舵いっぱい”と命じ、直ちに船を左舷に大きく転針させたが、巨大な巻波の力で暗礁に乗り上げ、次の大うねりで船首・船尾を次々にその岩礁に叩きつけられた船はまたたく間に浸水し始めた。真夜中になると船は漂流し始めた。船首には穴があき船の破損は船体中央部にまで及んだ。船べりが壊れ煙突、前帆柱も失った。浜辺の住民が松明を灯し大騒ぎし始めたころその船より遭難信号灯が打ち上げられた。

左右両舷に備えつけの救命ボートは大波にさらわれたり、または浜辺に辿り着く前に水船になり殆んど役に立たなかった。ハーマン号の吃水がさらに深くなると、人々は甲板上がってきた。多くは波にさらわれたが、負傷して流されたり難破船の破片に把まって波間に浮いていた生存者は波で岸まで運ばれた。夜が明けると難破船の位置は岸よりわずか3/4マイル付近の小さな湾口付近にあることが確認できた。海が凧ぐと救命ボートの一隻と数隻の小型和船が岸から近づき船内に残った人々を助けた。近隣の婦女子は素肌の体熱により兵士を蘇生させたと言う。

藩士の行動は大変勇敢だった。船が暗礁に接触後瞬時にこの状況を理解し、素晴らしい自制心と冷静沈着さで静かにリーダーの命を待った。やが

て船長は藩士たちに腰帯に刀を結び裸で海に飛び込み岸まで泳ぐよう指示した。

## 2 ハーマン号の船歴

ハーマン号は(1734余総トン)1847年、ニューヨークで建造され、3本マスト、3層甲板から成る蒸気外輪船(機帆船)である。全長71m、幅12m、深さ9.6mの船は2基のエンジン、ボイラーを有し最大出力1100馬力の新鋭艦であった。ハーマン号は最初大洋航路汽船会社で主に大西洋航路での郵便物などの輸送にあたったが、中にはエジプトからサーカス用に輸入された12頭のラクダも運んだ。その間、数回修理改造され外観上も左舷の条板を白黒で、煙突を赤黒で塗り分け他船とは顕立つ改装がなされた。やがて、他の定期船の郵便物輸送への参入により会社経営を圧迫したため、ハーマン号は太平洋蒸気郵船会社に身売りされた。1868年、その郵船会社は太平洋航路就航計画に伴いハーマン号を横浜に繋留した。幕末の日本では輸送用にハーマン号を頻繁に雇う需要があり経営上採算が良かった。

### 文献目録

- 1) New York Times, April 22, 1869
- 2) Ridgely-Nevitt C. 「American Steamships on the Atlantic」, 1981
- 3) 引田作蔵「続私説勝浦史」1972

## 考古ニュース

### 会報・報告書案内

#### ▷ 古代文化 (第46巻1号, 1994年, 70頁)

特集: 古代都市・平安京(1) 論考: 古代都市としての平安京研究(村井康彦), 初期平安京の造営と構造(山中 章), 平安時代の政務とその変遷, 平安京街路名異称集成(稿)(竹居明男) 発行所: 財団法人古代学協会(〒604 京都市中京区三条高倉)

#### ▷ 群馬文化 (第236号, 1994年, 85頁)

完結特集: 群馬県史その2 論考: 旧石器時代(1)(大工原豊), 旧石器時代(2)(桜井美枝), 縄文時代(1)(山口逸弘), 縄文時代(2)(小宮俊久), 弥生時代(若狭 徹), 古墳時代(荒木勇

次), 奈良・平安時代(綿貫邦男), 古代史(文献資料)(川原秀夫), 中世(統, 絵画)(小野瀬和男), 民俗(阪本英一), その他

発行所: 群馬県地域文化研究所協議会(〒371 前橋市文京町3-27-26群馬県立文書館内)

#### ▷ 甞る金鈴塚——金鈴塚古墳出土品図録—— (1993年3月発行, 98頁)

目次: 発刊にあたって, 例言, 写真図版(武器・武具, 馬具, 銅鏡, 装身具, 銅容器, 土器), 金鈴塚点描, 指定目録

発行所: 金鈴塚遺物保存館(〒292 千葉県木更津市太田2-16-1)